

大阪市立大空小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 (1)安全・安心な教育環境の実現(いじめへの対応、不登校への対応、安全教育の推進 等) ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(84.2%)以上にする。 ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(58.3%)以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度(3.60)より減少させる。 (2)豊かな心の育成(道徳教育の推進、インクルーシブ教育の推進、多文化共生教育の推進 等) ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(75.5%)以上にする。 ・小学校学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75.0%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 いじめへの対応】 ・本校の「学校いじめ対策基本方針」をもとに、4月にいじめ未然防止研修を実施し、いじめ未然防止の取組内容や校内組織体制の確認、重大事案への対応等について共通理解を図る。 ・「いじめ・いのちについて考える日」(5/11)に全校集会を開き、学校長の講話とともに各クラスで道徳科の授業を行い、いじめや命について考える一日となる取組を実施する。 指標:小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(93.9%)以上にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 いじめへの対応】 ・いじめアンケートを年3回(6月・11月・2月)実施し、いじめに関わる事象があった場合は丁寧に聞き取りを行い保護者へ報告する等、早期解決に取り組む。また、生活指導部を中心にいじめアンケートの結果を集約・分析し、取組内容や対応策について検討・改善を図る。 ・「心の天気」の入力の割合を月80.0%以上(校外学習や運動会等、入力する時間の確保が難しい日は除く)にする。 指標:子どもアンケートにおける「困ったときなどに、まわりにいる教職員へ相談することができる。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(83.8%)以上にする。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 不登校への対応】 ・学校・区役所・子ども相談センター・フリースクール等の外部関係機関と連携を深め、不登校支援を行い、出席認定を促進する(前年度8名、計469日)。 ・長期欠席児童の推移について一覧表を作成し、児童の出席状況について可視化する。 ・不登校支援担当者を2名配置し、校内登校支援教室「つながる一む」と通級指導教室「ひろがる一む」を運用しながら、学年担当と協働して登校支援を進める。 ・地域やサポーターと協働した「大空サポートネットワーク」を立ち上げ、不登校傾向にある児童及びサポーターの包括的支援を進める。 指標:年度末の校内調査において、前年度末の不登校児童の改善の割合(50.0%)より向上させる。	

取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成 キャリア教育の推進】 ・OEN と連携して各分野で活躍する人材などによる出前授業や探究学習等、体験的な学習に取り組むことで自己肯定感の向上に繋げる。 ・地域の人材を活用した出前授業（オープン講座）や多種多様な企業・団体と連携した訪問授業（docomo・弁理士・水道局・リハビリテーションセンター等）を実施し、本物（ほんもの）から学ぶ・感じる学習に取り組む。 ・キャリア・パスポートを着実に活用して、自らの学習過程やキャリア形成を振り返り、自身の成長を自己評価することを通じて、主体的に学びに向かう力の育成に取り組む。	
指標：小学校学力経年調査における「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75.0%以上にする。	
取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成 インクルーシブ教育の推進】 ・コンサートの取組やバースデーメッセージ集会、全校学習等の「ふれあい」の実践を通して、児童の主体性を育成するとともに、自分のよさや友だちのよさをお互い認め合える取組を実施する。 ・遠足や校外学習、宿泊学習、運動会や作品展、縦割り集会活動等、学校行事全般を通して、児童が輝ける場を設定し成功体験を重ねることで、児童の自己肯定感を高める。	
指標：小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（75.5%）以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・ ・ ・ ・ ・ 取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 いじめへの対応】 取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 いじめへの対応】 取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現 不登校への対応】 取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成 キャリア教育の推進】 取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成 インクルーシブ教育の推進】	
次年度への改善点	
・ ・ ・ ・	

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 (4) 誰一人取り残さない学力の向上(言語活動の充実、英語教育の強化、「主体的・対話的で深い学び」の推進) ・小学校学力経年調査における国語のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度(+1.9)より向上させる。 ・小学校学力経年調査における算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度(-3.4)より向上させる。 ・小学校学力経験調査における国語の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経験的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。 ・小学校学力経験調査における算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経験的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。 ・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(89.9%)以上にする。 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(73.4%)以上にする。 ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(70.7%)以上にする。 (5) 健やかな体の育成(体力・運動能力向上のための取組の推進 等) ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度(男子:0.91 女子:0.97)より向上させる。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(87.3%)以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 言語活動の充実 等】 ・火・木の朝スタの時間に算数科や国語科の基礎基本の定着に向けた既習事項の復習問題等に取り組む。金曜日は、読み聞かせまたは学年裁量(朝活)の時間を確保する。また、必要に応じて navima 等の学習アプリを活用する。 ・ユニバーサルデザインを意識した学習環境を整える。 ・学年の実態に応じて、算数の習熟度別学習を年間6時間以上実施する。 ・3年生、4年生を対象に原則3回、放課後学習を実施する。 ・R8年度より研究教科を国語科に設定し4か年計画で研究主題である「自ら考え、伝え合い、考えを深める子どもの育成」に取り組む。 ・一人一台端末を効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、組織的に取り組む。 ・理科(5・6年対象)と英語・外国語活動(3年から6年対象)に専科教諭を配置し、よりきめ細やかや指導の実現に取り組む。 指標: 子どもアンケートにおける「授業がわかりやすく楽しい。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(90.9%)以上にする。	

取組内容②【基本的な5 健やかな体の育成 体力・運動能力向上のための取組の推進 等】 ・子どもが運動に慣れ親しむように運動器具の充実や運動環境の整備に取り組む（令和7年度はジャンピングボード、竹馬、一輪車補助具を設置）。 ・1月に体力アップタイムを2週間設定し、子どもが運動に参加できる取組を実施する。 ・児童が規則正しい生活習慣を身に着け、心身ともに健康な学校生活を送ることができるよう健康教育（食に関する指導、性に関する指導、手洗い・うがいの励行、ハンカチ・ティッシュの携帯等）に取り組む。 指標：子どもアンケートにおける「友だちと運動したり、遊んだりすることが楽しい。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度（93.8%）以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上 言語活動の充実 等】 取組内容②【基本的な5 健やかな体の育成 体力・運動能力向上のための取組の推進 等】	
次年度への改善点	

大阪市立大空小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 (6)教育 DX の推進(ICT を活用した教育の推進、データ等の根拠に基づく施策の推進) ・小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65.0%以上にする。 (7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり(働き方改革の推進、教育の資質向上・人材の確保等) ・教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1カ月あたりの平均時間外勤務時間を前年度(21時間10分)以下にする。 (8)生涯学習の支援(学校図書館の活性化、「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組) ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を昨年度(66.2%)以上にする。 (9)家庭・地域等と連携・協働した教育の推進(教育コミュニティづくりと地域学校協働活動の推進) ・「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」に対して、肯定的に回答する割合を前年度(88.0%)以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進 ICT を活用した教育の推進】 ・デジタル学習を効果的に推進するにあたり、発達段階に応じたデジタルリテラシー教育に取り組む。 ・様々な学習教材をクラウド上で共有し、スライドの共同編集等を活用した問題解決型学習、オンラインアンケート等を活用した学習の振り返り等、デジタル学習基盤の活用を前提とした授業づくりの確立に取り組む。(OEN 等と連携した探究学習も含む) 指標: 授業日において児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の前年度(78.9%)以上にする。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 働き方改革の推進】 ・ワークライフバランス支援員や生活指導支援員の配置、本務教員による欠員補充制度により、人員を確保し業務負担の平準化に取り組む。 ・PDCAサイクルのもと、行事内容の見直しを行い、その年の実務担当者が次年度に引き継げるよう、カリキュラムマネジメント検討委員会で検討を図り、ブラッシュアップに取り組む。 ・学年会や夕会、カリキュラムマネジメント検討委員会等で意見や考えを出し合い、一人で抱え込むことのない風通しの良い職場づくりに取り組む。 ・早帰りの日(17:30 退勤)、定時退勤日(17:00 退勤)を設定し退勤時間の徹底を図る。 ・学年教科担任制の導入により、複数の教員で学級経営を行うことで、業務分散による負担軽減を図るとともに児童一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかな指導の実現に取り組む。 指標: ストレスチェックの総合健康リスクにおいて、昨年度(105:全国平均=100)を下回る。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援 学校図書館の活性化】 ・図書ボランティアによる図書館開放や図書館パスポートの取組、図書の読み聞かせ、学校図書館の整備等、読書活動や図書環境の充実に取り組む。 指標: 子どもアンケートにおける「本を読むことや図書レンジャーに読み聞かせをしてもらうことが楽しい。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(89.5%)以上にする。	

取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進 教育コミュニティづくりと地域学校協働活動の推進】 ・SEA やはぐくみネット、学校協議会と連携しながら教育活動の充実に取り組む。	
指標: サポーターアンケートにおける「学校はサポーターや地域の願いに応えようとしている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度(92.1%)以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・ ・ ・ 取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進 ICT を活用した教育の推進】 取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり 働き方改革の推進】 取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援 学校図書館の活性化】 取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進 教育コミュニティづくりと地域学校協働活動の推進】	
次年度への改善点	
・ ・ ・ ・	